

縮小社会研究会 第 67 回研究会



日時：2022年10月8日（土） 13:00～15:00、オンライン開催（Zoom）

日本ではこの30年間、賃金は上昇せず、低賃金の非正規労働者は増加し、貧富の差が拡大しています。また、政府には1000兆円を超える借金が溜まっています。これには多くの要因がありますが、その一つとして貨幣制度があります。私たちが使っている紙幣は株式会社である日本銀行が利息をとって企業、家庭、政府に貸し出している債務貨幣です。この利息がいろいろな問題を引き起こします。利息を生み出すには経済成長が必要ですが、成長が止まり縮小するとどうなるかが問題です。今回は貨幣制度について「公共貨幣入門」（集英社インターナショナル新書、2021.10.12発行）の著者である山口薫さんと山口陽恵さんに講演をしていただきます。なお、講演受講前に上記を読まれることをお勧めします。

お金を研究しない（できない）経済学 — 公共貨幣入門 —

講師：山口薫さん（公共貨幣フォーラム代表理事）、山口陽恵さん（公共貨幣フォーラム理事）

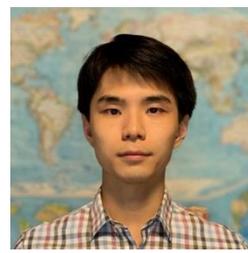
講演要旨： 日本経済は1990年代のバブル崩壊後、なぜ30年もの長きにわたって経済成長できなかったのか。この間、政府や日銀はあらゆる経済政策（構造改革・財政金融・量的緩和政策等々）を動員して「失われた30年」からの脱却を図りましたが、これらの政策は悉く失敗しました。なぜか。経済政策が立脚する新古典派・ケインズ経済学の2つの主流派経済学の理論が間違っていたからです。その貨幣理論がウソだったからです。経済政策の失敗は現在も進行中です。

私たちの経済分析・政策提言は、「公共貨幣」を取り戻せば、日はまた昇り、新しい未来が切り拓けるというもので、1年前の10月に出版の新書「公共貨幣入門」でその全てを語り尽くしました。この講演では、「経済学はなぜお金を研究しないのか、できないのか」について、新書では語り尽くせなかった点にさらにスポットを当ててみます。参加者の皆さんにはぜひ事前にご一読いただき、疑問点等を当日ご質問ください。講演時間の後半をQ&Aに当てますので、限られた時間を一緒に有意義に過ごしましょう。

山口薫さんの略歴： 元国立アンカラ社会科学大学大学院教授、公共貨幣フォーラム代表理事、カリフォルニア大学バークレー校経済学博士、サンフランシスコ大学、ハワイ大学、同志社大学で教鞭をとる。著書に「公共貨幣」（東洋経済新報社）など



山口薫さん



山口陽恵さん

山口陽恵さんの略歴： 日本未来研究センター研究員、公共貨幣フォーラム理事、EUのエラスムス・ムンドゥス修士、フィンテック企業ソラミツ（貨幣・経済システム研究所長）を経て日本未来研究センターでASDマクロ経済モデル開発に従事。

zoomのURL：<https://us02web.zoom.us/j/89342327245?pwd=M3lZZHVlZF1YTXBHVFBVV010QWVwUT09>

パスコード：807006、ミーティングID：893 4232 7245

参加費：無料（非会員の方のカンパ歓迎）

参加登録：非会員の方は松久まで連絡ください（h.matsuhisa@shukusho.org）